

事業計画書

1. 団体名	畑野プロジェクト委員会
2. 事業名	畑野プロジェクト
3. 本支援金活用回数	☐ 1回目 ☒ 2回目 ☐ 3回目
他補助金との併用	☒ 併用なし ※初回は10/10交付・2回目以降は3/4交付 ☐ 併用あり（補助金名： ）※申請中含む
4. 対象	対象となる地域や地域住民を記入してください。
第一に町内住民、第二に市内住民、第三に近隣市外の方々に対象を拡大	
5. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和8年4月1日～令和9年3月31日までです。
令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
6. 地域課題・事業目的	地域課題と事業の目的を記入してください。
地域課題（どのような地域課題があり、誰がどのように困っているのか）	
畑野小学校が令和6年3月で閉校となり、地域住民も65歳以上が45%を超え、少子高齢化が進んでいる。畑野町民1700名の地域住民間の活性化が薄れてきており、地域住民間には、将来を見つめて何か元気を出せる方法策がないかを求めてきている。	
事業目的（上記の地域課題をどのような解決結果に導きたいのか）	
畑野小学校跡地の再利用を起爆剤として、町全体が持続可能な再生可能エネルギーや環境教育の促進、独自のスタートアップ事業を目指すプロジェクトを立ち上げ、取り組み行動を起こしていきたい。 それらの実現に向けて、この組織を作り上げるのに、協力して頂いている各団体と新規グループの応援が不可欠であるところから活動を深めていき、若い方の賛同者を取り込んできている。 畑野町は多様な世代の住民や、新しく暮らし始めた住民が混在している地域であり、多数のあらゆる職種特技を持っておられる匠の方々がおられる。この方々に新しい地域活動への参加を促して、畑野町のこれからの将来を一緒に考える、日常の助け合いに始まり、災害時の迅速な対応も含め、住民の繋がり暮らしやすさが必要である。畑野小学校跡地を利用して、我々の活動が住民相互の協力を仰ぎ、暮らしやすさを実感できる楽しい場所作りと活気ある地域作りを進めて行く。 取り組みのコンセプトは、委員会内を3点に重点置き、グループごとに取り組んで行く。 1, 学校跡地の利用促進活動＝Aグループ 2, 学校跡地での新たなイベント事業を立ち上げ、住民相互の活性化を高める＝Bグループ 3, 新規継続事業を立ち上げる＝Cグループ	

7. 事業内容		上記の課題を解決するためになにを実施するのか具体的に記入してください。	
事業の実施概要			
1, 学校跡地の利用促進活動Aグループの取り組み 8年度は、グラウンドでのキャンプ場設営の可能性を探り、再度実体験調査を行う 教室の拡大利用方法の探索会議を毎月開き、提案出来るようにしていく 2, 新たなイベント事業の立ち上げBグループの取り組み 今までの町内イベント（体育振興会・コミュニティ協議会等）に無い新しい内容に取り組む ハイキングコースの設定 戦没者の忠魂碑が放置されている所を整備して、展望台としての役割を担い社寺・古墳を含めて畑野町のハイキングコースとしての樹立を進める 3, 新規継続事業を立ち上げるCグループの取り組み 「お化け屋敷」を再度挑戦する（町外周囲の開催が嵩み次年度に移行） 小学校全館利用で秋の催しを定着させるために、本年度も継続できる可能性の取り組みを行う 4, 移住促進に向けた取り組みの充実 移住者に町の魅力を伝え、交流の場を設け移住後の不安を解消できる仕組みを作る 昨年取り組んだ移住者募集案内ブックを活用して、新移住の方に参加活動を進める			
●スケジュール（会議、準備、イベント、検証などをいつ行うか計画を記入してください。）			
日程	内容（活動内容・参加費・場所など具体的に記入）		場所・会場
4月～3月	作戦会議月1回集客案抽出、新規事業案検討		自治会館会議室
4月12日	桜まつり（Bグループ起案）		グラウンド・体育館
4月26日	スズメバチ退治講座（Bグループ起案）		体育館・自治会館
6月中	一泊体験キャンプの開催		グラウンド
6月14日	エコフェスタIN畑野（Bグループ起案）		体育館・グラウンド
8月9日	畑野夏まつりにプロジェクト委員会が協賛		グラウンド
6月～12月	ハイキングコース設計実施（全体起案）		忠魂碑、古墳群追加
1月	とんど祭り（Bグループ起案）		グラウンド中心
3月	年間まとめ会議		自治会館
●情報発信方法			
発信媒体（チラシ、SNSなど）		発信量	広報範囲（配布範囲、掲示場所等）
印刷チラシ・ポスター		1200部／10回	西部4町自治会回覧・配布・掲示版
SNS・ウェブ		インスタ・X・フェイスブック・TIKTOKへ	ネット利用
張り紙広告		各区のゴミステーションに貼る	西部4町に幹旋
8. 目標		事業実施に当たって下記の目標を具体的に記入してください。	
① 事業による変化・成果目標			

SNS 等で事業のアピールを広め、将来に向けて連携先企業を見つけていきたい。 町外のパートナーシップ・ミーティングに参加し、他団体との交流を深め、連携、協働した取り組みへと発展させる努力をしていきたい。 我々の地域主体の事業の在り方を多くの方に理解頂き、新規移住者とのつながりを深めていくことに努めたい。																										
② 上記①を達成するための実施目標数値（事業の回数や参加者数など）																										
SNS を活用して活動内容を定期的に発信することで、地域内外での畑野町の魅力をアピールして認知度を高め、賛同参加者の増加を図る。 集客目標 年間 1500 名以上 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7 年</th> <th>8 年</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜まつり</td> <td>150 人</td> <td>500 人</td> <td>桜が咲く時期に行う</td> </tr> <tr> <td>スズメバチ退治講座</td> <td>115 人</td> <td>105 人</td> <td>グッズ作りが好評 多くのスズメバチを取る</td> </tr> <tr> <td>エコフェスタ I N畑野</td> <td>135 人</td> <td>200 人</td> <td>不用品交換オープン</td> </tr> <tr> <td>とんど祭り</td> <td>130 人</td> <td>200 人</td> <td>新年を祝し、飾り物を送る</td> </tr> <tr> <td>ハイキングコース実施</td> <td>0 人</td> <td>200 人</td> <td>古墳群の案内講習</td> </tr> </tbody> </table>				7 年	8 年	備考	桜まつり	150 人	500 人	桜が咲く時期に行う	スズメバチ退治講座	115 人	105 人	グッズ作りが好評 多くのスズメバチを取る	エコフェスタ I N畑野	135 人	200 人	不用品交換オープン	とんど祭り	130 人	200 人	新年を祝し、飾り物を送る	ハイキングコース実施	0 人	200 人	古墳群の案内講習
	7 年	8 年	備考																							
桜まつり	150 人	500 人	桜が咲く時期に行う																							
スズメバチ退治講座	115 人	105 人	グッズ作りが好評 多くのスズメバチを取る																							
エコフェスタ I N畑野	135 人	200 人	不用品交換オープン																							
とんど祭り	130 人	200 人	新年を祝し、飾り物を送る																							
ハイキングコース実施	0 人	200 人	古墳群の案内講習																							
9. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。																									
町内各団体とのコラボを実施 各自治会加入団体（体育振興会・コミュニティ協議会等）との交流 里ナビグループ（ネット）への参画と協働に努力する																										
10. ステップアップの内容	※活動 2 年目以降の団体は以下の内容を具体的に記入してください。																									
① これまでの事業実施時の課題と成果																										
・自治会活動との協働と新しいイベントを重視して行った ・昨年度、畑野プロジェクトとして独立した団体になった ・課題：参加率の向上とプロジェクトの知名度の向上を図る																										
② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べて活動の充実をさせているのか																										
・地域資源（小学校閉校後）の有効活用を更に進めるために、過去に学校閉校後の活用を実施されている南丹市の方を招いて、経過等の講義を聞いて具体策を固めていく ・今年の 8 月 5 日に公募が出され、前半イベントを充実させて、後半は、学校の利活用に重点を置き、前住民にアンケートを配布し、集計して昨年計画より充実した内容にまとめる。 - 観光も含めてハイキングコース事業を地域の活性剤として促進させ、プラス地域事業の確立を目指す（古墳発見に伴う講習を実施） ・移住者を含め、若者・家族層をターゲットにした話題性のあるコンテンツ提供を更に高める																										
11. 次年度以降の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。																									
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄付金）																								
2 年目	1 年目で培った内容を更に更新して実施 新規移住者の増加に向けた企画 収益化に向けた取り組み	補助金申請 協賛金 目標 10 万 寄付金 目標 10 万																								

3 年目	畑野プロジェクトの独立運用できる体制作り 町民の増加を目指して移住者への安心を与え、地域経済を活性化させる	参加費を計上
------	--	--------

12. 審査会	審査会の発表順番は何番を希望しますか。いずれかに○をつけてください。 申請書の提出が早い団体の希望を優先して順番を決めます。
一番最初	○
前半	
後半	
一番最後	
13. 申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施しますか。 「はい」もしくは「いいえ」にレ点を入れてください。	
☒ はい ☐ いいえ	

※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。